

ダイワ・ライジング・ タイランド株式ファンド

運用報告書(全体版) 第14期

(決算日 2020年2月27日)

(作成対象期間 2019年8月28日～2020年2月27日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	10年間(2013年2月28日～2023年2月27日)	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンドの受益証券
	ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド	タイ企業の株式(DR(預託証券)を含みます。)
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、輸出や投資、消費の拡大に注目して、タイ企業の株式に投資し、値上がり益の獲得を追求することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近 5 期の運用実績

決算期	基準価額			MSCIタイ指数 (配当込み、円換算)		株式 組入 率	株式 先物 率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
10期末 (2018年 2月27日)	12,812	600	27.5	15,983	27.3	96.8	—	6,302
11期末 (2018年 8月27日)	11,598	0	△ 9.5	15,228	△ 4.7	93.2	—	6,119
12期末 (2019年 2月27日)	11,549	0	△ 0.4	15,630	2.6	96.8	—	5,383
13期末 (2019年 8月27日)	10,874	0	△ 5.8	14,729	△ 5.8	95.4	—	4,213
14期末 (2020年 2月27日)	8,881	0	△ 18.3	12,531	△ 14.9	96.4	—	2,944

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) MSCIタイ指数 (配当込み、円換算) は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCIタイ指数 (配当込み、タイ・パーツベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIタイ指数 (配当込み、タイ・パーツベース) は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注 5) 株式および株式先物の組入率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

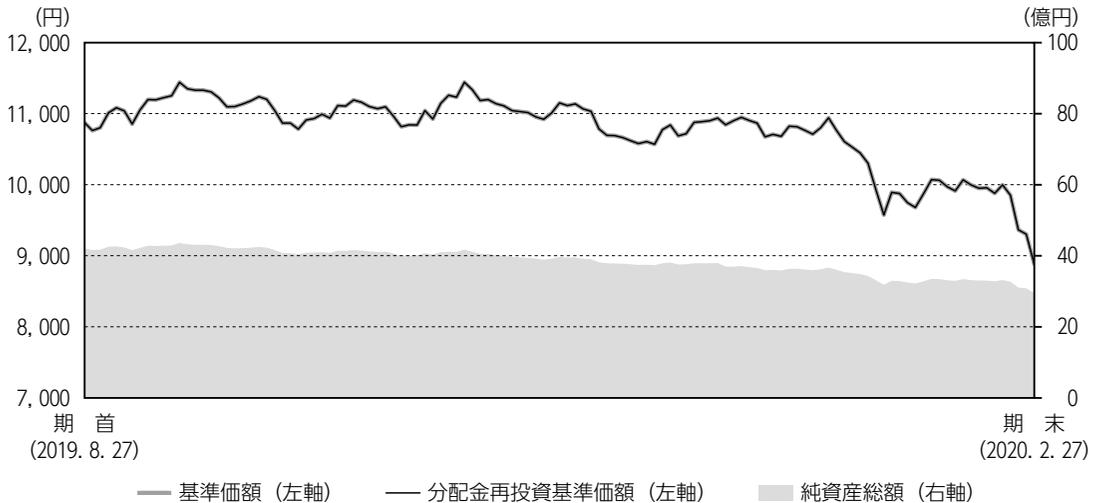
(注 6) 株式組入比率は新株予約権証券を含みます。

(注 7) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：10,874円

期末：8,881円（分配金0円）

騰落率：△18.3%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

マザーファンドを通じてタイ株式に投資した結果、基準価額は下落しました。新型コロナウイルスの感染拡大を受け世界的に投資家心理が悪化する中、観光産業を中心にタイ経済への悪影響が懸念され、タイ株式市場が下落したことがマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・ライジング・タイランド株式ファンド

年 月 日	基 準 価 額		M S C I タイ 指 数 (配 当 込 み、 円 換 算)		株 組 比	式 入 率	株 先 比	式 物 率
		騰 落 率	(参 考 指 数)	騰 落 率				
(期 首) 2019年 8 月 27 日	円	%		%		%		%
	10,874	—	14,729	—		95.4		—
8 月 末	11,012	1.3	14,915	1.3		95.5		—
9 月 末	11,241	3.4	15,346	4.2		95.8		—
10 月 末	11,043	1.6	15,182	3.1		96.4		—
11 月 末	11,066	1.8	15,282	3.8		96.7		—
12 月 末	10,906	0.3	15,241	3.5		96.9		—
2020年 1 月 末	9,877	△ 9.2	14,071	△ 4.5		95.8		—
(期 末) 2020年 2 月 27 日	8,881	△ 18.3	12,531	△ 14.9		96.4		—

(注 1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注 2) 株式組入比率は新株予約権証券を含みます。

投資環境について

(2019. 8. 28 ~ 2020. 2. 27)

■タイ株式市況

タイ株式市況は下落しました。

タイ株式市況は、当作成期首より出遅れ感があつたエネルギー大手や素材大手を中心に上昇して始まったものの、その後2019年10月にかけては、企業業績の不透明感や世界的な景気減速懸念を背景に、弱含む展開となりました。11月以降は、米中通商協議の進展期待が支援材料となったものの、香港情勢の緊迫化や銀行の規制強化観測などが懸念され、一進一退の展開となりました。2020年1月下旬以降は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け世界的に投資家心理が悪化する中、観光産業を中心にタイ経済への悪影響が懸念され、下落しました。

■為替相場

タイ・バーツは、円に対しておおむね横ばいとなりました。

当作成期首より、米中通商協議の進展期待を背景に、タイ・バーツは対円で上昇して始まりまし。2019年11月以降は、引き続き米中通商協議の進展期待が支援材料となったものの、香港情勢の緊迫化などが警戒され、横ばいとなりました。2020年1月下旬以降は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け世界的に投資家心理が悪化する中、観光産業を中心にタイ経済への悪影響が懸念され、下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド」を高位に組み入れる方針です。

■ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド

インフラ（社会基盤）整備に対する投資の促進、所得水準の向上に伴う個人消費の拡大、製造業の集積による輸出拡大見通しを背景とした、中長期的なタイ経済の高成長を享受することをめざして運用を行ってまいります。業種では、資産内容の改善や貸出残高の増加を背景に業績拡大が期待される大手銀行を中心に金融セクターに注目しています。また、観光客数の増加や政府による景気刺激策の恩恵が期待される生活必需品や一般消費財・サービスなどのセクターにも注目しています。

ポートフォリオについて

(2019. 8. 28 ~ 2020. 2. 27)

当ファンド

当作成期を通じて「ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド」を高位に組み入れました。

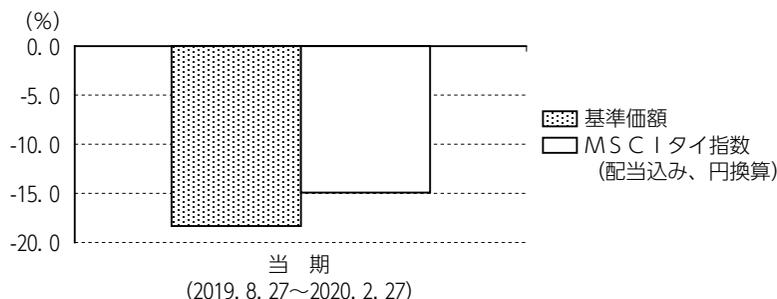
ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド

タイ株式の中から、中長期的に高い利益成長が期待できる銘柄に分散投資を行いました。業種では、政府による景気刺激策の恩恵が期待された銘柄を中心に生活必需品セクターや、株価バリュエーションの観点から投資妙味があると判断した銘柄を中心にエネルギーセクターなどを高位組み入れとしました。また、病院の新規開設による業績拡大期待から病院運営会社の CHULARAT HOSPITAL PCL (ヘルスケア)、魅力的な配当利回りから銀行の TISCO FINANCIAL GROUP PCL (金融) などを買付けました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はタイ株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益を計上できなかったため、収益分配を行いませんでした。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2019年8月28日 ～2020年2月27日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	2,800

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

当ファンド

「ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド」を高位に組み入れる方針です。

ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド

インフラ（社会基盤）整備に対する投資の促進、所得水準の向上に伴う個人消費の拡大、製造業の集積による輸出の拡大見通しを背景とした、中長期的なタイ経済の高成長を享受することをめざして運用を行ってまいります。業種では、資産内容の改善や貸出残高の増加が期待される大手銀行を中心に、金融セクターに注目しています。また、政府の景気刺激策を背景に国内消費の改善が期待されることから、生活必需品セクターにも注目しています。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 8. 28~2020. 2. 27)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	98円	0. 909%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,761円です。
(投 信 会 社)	(47)	(0. 441)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(47)	(0. 441)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(3)	(0. 028)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	27	0. 248	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(27)	(0. 248)	
有 価 証 券 取 引 税	1	0. 005	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(1)	(0. 005)	
そ の 他 費 用	11	0. 105	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(11)	(0. 102)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	136	1. 267	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

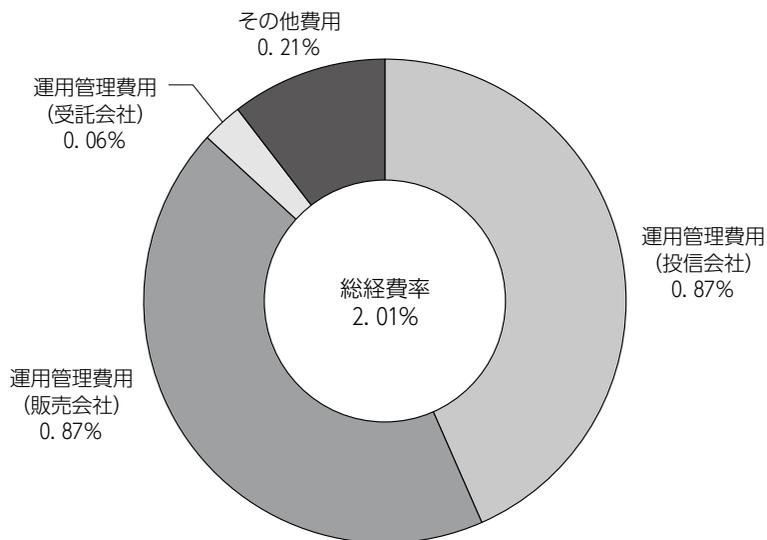
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.01%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

ダイワ・ライジング・タイランド株式ファンド

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年8月28日から2020年2月27日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド	—	—	455,728	645,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2019年8月28日から2020年2月27日まで)

項 目	当 期
	ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	2,774,206千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,762,181千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.73

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド	2,991,579	2,535,850	2,925,611

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年2月27日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド	2,925,611	98.1
コール・ローン等、その他	55,598	1.9
投資信託財産総額	2,981,209	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月27日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=110.32円、1シンガポール・ドル=78.97円、1タイ・バーツ=3.47円です。

(注3) ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(2,906,806千円)の投資信託財産総額(2,971,650千円)に対する比率は、97.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年2月27日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,981,209,384円
コール・ローン等	50,598,205
ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド(評価額)	2,925,611,179
未収入金	5,000,000
(B) 負債	37,176,134
未払解約金	2,026,506
未払信託報酬	35,043,133
その他未払費用	106,495
(C) 純資産総額(A-B)	2,944,033,250
元本	3,314,871,120
次期繰越損益金	△ 370,837,870
(D) 受益権総口数	3,314,871,120口
1万口当り基準価額(C/D)	8,881円

* 期首における元本額は3,874,571,867円、当作成期間中における追加設定元本額は4,933,092円、同解約元本額は564,633,839円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,881円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は370,837,870円です。

■損益の状況

当期 自2019年8月28日 至2020年2月27日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 9,596円
受取利息	678
支払利息	△ 10,274
(B) 有価証券売買損益	△ 625,081,194
売買益	13,269,178
売買損	△ 638,350,372
(C) 信託報酬等	△ 35,149,894
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 660,240,684
(E) 前期繰越損益金	61,038,518
(F) 追加信託差損益金(配当等相当額)	228,364,296
(配当等相当額)	(198,163,170)
(売買損益相当額)	(30,201,126)
(G) 合計(D+E+F)	△ 370,837,870
次期繰越損益金(G)	△ 370,837,870
追加信託差損益金(配当等相当額)	(198,163,170)
(売買損益相当額)	(30,201,126)
分配準備積立金	730,295,633
繰越損益金	△ 1,329,497,799

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産(親投資信託)の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用:9,260,007円(未監査)

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	198, 163, 170
(d) 分配準備積立金	730, 295, 633
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	928, 458, 803
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	928, 458, 803
(h) 受益権総口数	3, 314, 871, 120口

《お知らせ》

●商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド 運用報告書 第14期 (決算日 2020年2月27日)

(作成対象期間 2019年8月28日～2020年2月27日)

ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

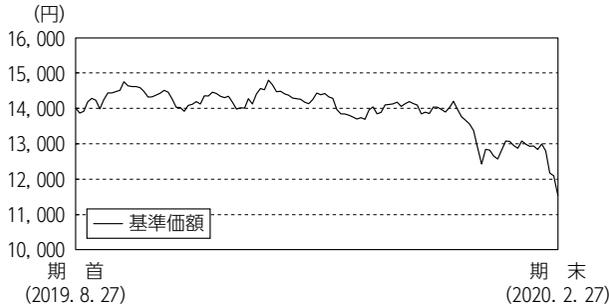
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	タイ企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		MSCIタイ指数 (配当込み、円換算)		株式組入 比率	株式先物 比率
	円	%	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2019年 8月27日	14,013	—	14,729	—	95.9	—
8月末	14,194	1.3	14,915	1.3	96.0	—
9月末	14,513	3.6	15,346	4.2	96.3	—
10月末	14,278	1.9	15,182	3.1	96.8	—
11月末	14,329	2.3	15,282	3.8	97.2	—
12月末	14,142	0.9	15,241	3.5	97.4	—
2020年 1月末	12,821	△ 8.5	14,071	△ 4.5	96.3	—
(期末) 2020年 2月27日	11,537	△ 17.7	12,531	△ 14.9	97.0	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) MSCIタイ指数 (配当込み、円換算) は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCIタイ指数 (配当込み、タイ・パーツベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIタイ指数 (配当込み、タイ・パーツベース) は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 株式組入比率は新株予約権証券を含みます。
- (注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：14,013円 期末：11,537円 騰落率：△17.7%

【基準価額の主な変動要因】

タイ株式に投資した結果、基準価額は下落しました。新型コロナウイルスの感染拡大を受け世界的に投資家心理が悪化する中、観光産業を中心にタイ経済への悪影響が懸念され、タイ株式市場が下落したことがマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○タイ株式市況

タイ株式市況は下落しました。

タイ株式市況は、当作成期首より出遅れ感があつたエネルギー大手や素材大手を中心に上昇して始まったものの、その後2019年10月にかけては、企業業績の不透明感や世界的な景気減速懸念を背景に、弱含む展開となりました。11月以降は、米中通商協議の進展期待が支援材料となったものの、香港情勢の緊迫化や銀行の規制強化観測などが懸念され、一進一退の展開となりました。2020年1月下旬以降は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け世界的に投資家心理が悪化する中、観光産業を中心にタイ経済への悪影響が懸念され、下落しました。

○為替相場

タイ・パーツは、円に対しておおむね横ばいとなりました。

当作成期首より、米中通商協議の進展期待を背景に、タイ・パーツは対円で上昇して始まりました。2019年11月以降は、引き続き米中通商協議の進展期待が支援材料となったものの、香港情勢の緊迫化などが警戒され、横ばいとなりました。2020年1月下旬以降は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け世界的に投資家心理が悪化する中、観光産業を中心にタイ経済への悪影響が懸念され、下落しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

インフラ (社会基盤) 整備に対する投資の促進、所得水準の向上に伴う個人消費の拡大、製造業の集積による輸出拡大見通しを背景とした、中長期的なタイ経済の高成長を享受することをめざして運用を行ってまいります。業種では、資産内容の改善や貸出残高の増加を背景に業績拡大が期待される大手銀行を中心に金融セクターに注目しています。また、観光客数の増加や政府による景気刺激策の恩恵が期待される生活必需品や一般消費財・サービスなどのセクターにも注目しています。

◆ポートフォリオについて

タイ株式の中から、中長期的に高い利益成長が期待できる銘柄に分散投資を行いました。業種では、政府による景気刺激策の恩恵が期待された銘柄を中心に生活必需品セクターや、株価バリュエーションの観点から投資妙味があると判断した銘柄を中心にエネルギーセクターなどを高位組み入れとしました。また、病院の新規開設による業績拡大期待から病院運営会社の CHULARAT HOSPITAL PCL (ヘルスケア)、魅力的な配当利回りから銀行の TISCO FINANCIAL GROUP PCL (金融) などを買い付けました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

インフラ (社会基盤) 整備に対する投資の促進、所得水準の向上に伴う個人消費の拡大、製造業の集積による輸出の拡大見通しを背景とした、中長期的なタイ経済の高成長を享受することをめざして運用を行ってまいります。業種では、資産内容の改善や貸出残高の増加が期待される大手銀行を中心に、金融セクターに注目しています。また、政府の景気刺激策を背景に国内消費の改善が期待されることから、生活必需品セクターにも注目しています。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	35円 (35)
有価証券取引税 (株式)	1 (1)
その他費用 (保管費用) (その他)	14 (14) (0)
合 計	50

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

(1) 株 式

(2019年8月28日から2020年2月27日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	シンガポール	百株 — (—)	千シンガポール・ドル — (—)	百株 8,300	千シンガポール・ドル 702
	タイ	百株 232,921 (—)	千タイ・パーツ 314,917 (—)	百株 190,301	千タイ・パーツ 446,673

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 新株予約権証券

(2019年8月28日から2020年2月27日まで)

		買 付		売 付	
		証 券 数	金 額	証 券 数	金 額
外 国	タイ	証券 — (50,000)	千タイ・パーツ — (—)	証券 — (—)	千タイ・パーツ — (—)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は、割当、権利行使及び権利行使期間満了等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

株 式

(2019年8月28日から2020年2月27日まで)

銘 柄	当 期			銘 柄	期 付		
	株 数	金 額	平均単価		株 数	金 額	平均単価
THAI UNION GROUP PCL-F (タイ)	千株 1,680	千円 93,231	円 55	SIAM COMMERCIAL BANK-FOREIGN (タイ)	千株 320	千円 133,273	円 416
AEON THANA SINSAP THA-FOREIG (タイ)	110.6	83,909	758	AIRPORTS OF THAILAND PCL-FOR (タイ)	412	111,411	270
SUPALAI PUBLIC CO LTD-FOR (タイ)	1,230	83,569	67	KASIKORN BANK PCL-NVDR (タイ)	185	100,001	540
CHULARAT HOSPITAL PCL-F (タイ)	8,760	80,805	9	ADVANCED INFO SERVICE-FOR RG (タイ)	106	82,965	782
ERAWAN GROUP PCL/THE-FOREIGN (タイ)	3,434.4	72,218	21	AMATA CORP PUBLIC CO LTD-FOR (タイ)	1,100	76,389	69
ELECTRICITY GEN PUB CO-FOREI (タイ)	60	69,696	1,161	SINO-THAI ENGR & CONST-FOR (タイ)	1,200	74,752	62
TISCO FINANCIAL-FOREIGN (タイ)	188	67,342	358	BANGKOK BANK PUBLIC CO-NVDR (タイ)	120	68,468	570
HOME PRODUCT CENTER PCL-FOR (タイ)	1,180	60,654	51	INDORAMA VENTURES-FOREIGN (タイ)	560	67,553	120
SIAM CEMENT PUB CO-FOR REG (タイ)	35	51,965	1,484	GFPT PUBLIC CO LTD-FOR (タイ)	1,294.7	67,145	51
BANGKOK BANK PUBLIC CO-NVDR (タイ)	70	44,327	633	TOTAL ACCESS COMM-FOREIGN (タイ)	300	64,386	214

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国株式

銘柄	期首		当期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千シンガポールドル	千円	
(シンガポール)					
THAI BEVERAGE PCL	11,900	3,600	295	23,311	生活必需品
シンガポールドル株数・金額	11,900	3,600	295	23,311	
通貨計 銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄		<0.8%>	
	百株	百株	千タイ・パーツ	千円	
(タイ)					
SEAFKO PCL-FOREIGN REG	25,000	15,000	8,550	29,668	貸付・サービス
SIAM CEMENT PUB CO-FOR REG	1,150	1,500	47,400	164,478	素材
ERAWAN GROUP PCL/THE-FOREIGN	10,000	25,000	9,200	31,924	一般債・サービス
KASIKORN BANK PCL-NVDR	5,300	3,450	39,847	138,270	金融
CENTRAL PLAZA HOTEL PCL-FRGN	—	2,200	3,960	13,741	一般債・サービス
SIAM COMMERCIAL BANK-FOREIGN	5,900	2,700	23,355	81,041	金融
TISCO FINANCIAL-FOREIGN	—	1,880	18,753	65,072	金融
BANGKOK EXPRESSWAY AND METRO	8,000	8,000	7,920	27,482	貸付・サービス
SIAM MAKRO PUBLIC CO-FOREIGN	—	1,000	3,225	11,190	生活必需品
COM7 PCL-F	3,400	—	—	—	一般債・サービス
INTOUCH HOLDINGS PCL-F	2,800	1,940	10,282	35,678	コミュニケーション・サービス
SIAM WELLNESS GROUP PCL-F	2,720	—	—	—	一般債・サービス
DOHOME PCL-FOREIGN	1,000	—	—	—	一般債・サービス
GLOBAL POWER SYNERGY PCL-F	—	880	5,874	20,382	公益事業
SIAM GLOBAL HOUSE PCL-FOREIGN	8,000	11,400	14,364	49,843	一般債・サービス
HOME PRODUCT CENTER PCL-FOR	7,000	11,800	14,278	49,544	一般債・サービス
ADVANCED INFO SERVICE-FOR RG	3,260	2,500	49,250	170,897	コミュニケーション・サービス
CHAROEN POKPHAND FOOD-FORGN	12,680	15,180	40,986	142,221	生活必需品
MINOR INTERNATIONAL PCL-FOR	8,000	6,200	16,895	58,625	一般債・サービス
BTS GROUP HOLDINGS PCL-FORGN	5,000	5,000	5,750	19,952	貸付・サービス
SINO-THAI ENGR & CONST-FOR	12,000	—	—	—	貸付・サービス
BANGKOK DUST MED SERVICE-F	11,100	12,000	26,280	91,191	ヘルスケア
PTT EXPLORATION & PROD-FOR	4,800	4,000	45,400	157,538	エネルギー
SUPALAI PUBLIC CO LTD-FOR	—	6,300	10,206	35,414	不動産
ELECTRICITY GEN PUB CO-FOREI	—	600	16,920	58,712	公益事業
QUALITY HOUSE PCL-FOREIGN	25,000	—	—	—	不動産
DELTA ELECTRONICS THAI-FORGN	2,880	—	—	—	情報技術
THAI UNION GROUP PCL-F	—	9,800	14,798	51,349	生活必需品
RATCH GROUP PCL-FOREIGN	—	1,000	6,225	21,600	公益事業
BERLI JUCKER PUB CO-FORGN	6,000	3,500	12,250	42,507	生活必需品
AEON THANA SINSAP THA-FOREIG	—	806	11,122	38,596	金融
PTT PCL/FOREIGN	21,000	19,500	80,925	280,809	エネルギー
THAI OIL PCL-FOREIGN	5,880	6,130	27,585	95,719	エネルギー
CP ALL PCL-FOREIGN	12,750	11,320	75,561	262,196	生活必需品
AMATA CORP PUBLIC CO LTD-FOR	9,000	—	—	—	不動産

銘柄	期首		当期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千タイ・パーツ	千円	
AIRPORTS OF THAILAND PCL-FOR	12,850	8,730	54,562	189,331	貸付・サービス
CENTRAL PATTANA PUB CO-FOREI	3,600	5,071	27,256	94,580	不動産
BANGKOK BANK PUBLIC CO-NVDR	2,600	2,100	26,880	93,273	金融
LAND & HOUSES PUB - NVDR	19,500	6,350	5,207	18,068	不動産
INDORAMA VENTURES-FOREIGN	5,600	—	—	—	素材
PTT GLOBAL CHEMICAL PCL-FOR	6,600	4,800	21,360	74,119	素材
TOTAL ACCESS COMM-FOREIGN	3,000	—	—	—	コミュニケーション・サービス
INTOUCH HOLDINGS PCL-NVDR	1,300	—	—	—	コミュニケーション・サービス
GFPT PUBLIC CO LTD-FOR	12,947	—	—	—	生活必需品
WHA CORP PCL-FOREIGN	—	25,000	7,250	25,157	不動産
CHULARAT HOSPITAL PCL-F	—	87,600	21,549	74,777	ヘルスケア
タイ・パーツ株数・金額	287,617	330,237	811,228	2,814,961	
通貨計 銘柄数<比率>	35銘柄	35銘柄		<96.2%>	
ファンド株数・金額	299,517	333,837	—	2,838,273	
合計 銘柄数<比率>	36銘柄	36銘柄		<97.0%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2)新株予約権証券

銘柄	期首		当期末	
	証券数	証券数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
	証券	証券	千タイ・パーツ	千円
(タイ)				
BTS GROUP-CW99	—	50,000	50	173
ファンド証券数・金額	—	50,000	50	173
合計 銘柄数<比率>	—	1銘柄		<0.0%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド

■投資信託財産の構成

2020年2月27日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	2,838,273	95.5
新株予約権証券	173	0.0
コール・ローン等、その他	133,203	4.5
投資信託財産総額	2,971,650	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月27日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=110.32円、1シンガポール・ドル=78.97円、1タイ・バーツ=3.47円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(2,906,806千円)の投資信託財産総額(2,971,650千円)に対する比率は、97.8%です。

■損益の状況

当期 自2019年8月28日 至2020年2月27日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	34,794,912円
受取配当金	34,800,182
受取利息	21,433
支払利息	△ 26,703
(B) 有価証券売買損益	△ 652,209,328
売買益	65,628,949
売買損	△ 717,838,277
(C) その他費用	△ 3,944,463
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 621,358,879
(E) 前期繰越損益金	1,200,396,912
(F) 解約差損益金	△ 189,271,705
(G) 合計 (D + E + F)	389,766,328
次期繰越損益金 (G)	389,766,328

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年2月27日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,971,650,193円
コール・ローン等	88,547,818
株式 (評価額)	2,838,273,191
新株予約権証券 (評価額)	173,500
未収入金	35,508,805
未取配当金	9,146,879
(B) 負債	46,032,968
未払金	41,032,968
未払解約金	5,000,000
(C) 純資産総額 (A - B)	2,925,617,225
元本	2,535,850,897
次期繰越損益金	389,766,328
(D) 受益権総口数	2,535,850,897口
1万口当り基準価額 (C / D)	11,537円

* 期首における元本額は2,991,579,192円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は455,728,295円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・ライジング・タイランド株式ファンド2,535,850,897円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,537円です。